



イヌにダニやノミがどうしてつくの

ノミやダニは、毛の中で血を吸って生きている

イヌ小屋のゆかのすき間などには、イヌのぬけ毛やほこりがたまっています。ノミやダニは、このほこりの中で、卵から幼虫、成虫、と成長します。

成虫になったノミやダニは、イヌの体にくっつき、するどい口で皮ふをつきさし、血を吸って生きていきます。イヌの体の上で卵を産み、その卵は、イヌがあちこち動き回るとつれて、そこらじゅうにばらまかれます。

ノミは、自分の体の200～300倍もの高さまでとび上がれます。とぶきよりも、ひととびで30センチメートルくらいまでとべます。ですから、散歩のときちゅうで、においをかぎあったほかのイヌにも、ノミはとび移れるのです。

ノミやダニに血を吸われると、イヌはかゆくてたまりません。おまけに、イヌのノミは人間にも移って血を吸います。でも、人間の体では、イヌノミがふえることはありません。

ノミやダニの退治法

イヌ小屋のゆかなどを、ひんぱんにそうじして、卵や幼虫を残さないようにしましょう。イヌの体は、シャンプーでこまめに、よくあらってやります。目の細かいノミ取り用くしで、毛をすいてやる方法もあります。くしの目にはさまったノミを、すばやくつぶしてやるのですが、失敗すると、自分にノミが移ってきますから、ご用心。

かんたんで効果があるのは、イヌ用ノミ取り首輪を買ってきて、つけてやることでしょう。ほかに、ノミやダニを駆除する専用薬品も売っています（監修・今泉 忠明）。

